

かわらばん

2026年1月号 No.312

医療生協さいたま新座支部

048-476-8241 (あさか虹の歯科)



明るいまちづくりをめざして頑張ります。

新年明けましておめでとうございます。

2025年は、前年に引き続き歴史に残る大きな出来事がおこりました。一昨年の衆議院選挙での与党過半数割れにつづき、7月に行われた参議院選挙でも、大きく議席を減らしました。この結果は「政治とカネ」の問題や物価高などで毎日の暮らしが大変な状況にある国民の生活に背を向けている政治に対する怒りのあらわれと思います。

こうした中で10月に誕生した政権は、「身を切る改革」を売り言葉に日本維新の会を政権の一翼に向かい入れ、臨時国会では、防衛費 GDP 比2%達成ありきで大軍拡予算を成立させました。その一方で社会保障の大改悪を行う考えです。現役世代の負担を削減するというもっともらしい口実で医療費の4兆円削減をかかげています。臨時国会では ①OTC 類似薬の患者負担増 ②入院病床の11万床削減 ③高額療養費限度額の引き上げなどは国民世論と国会論戦で凍結させましたが断念したわけではありません。それどころか、大きな危機に直面している介護保険の抜本改悪を狙っています。

介護保険利用料の2割負担の対象者拡大、ケアプランの有料化、要介護1~2の介護保険外しなど改悪のオンパレードです。また、物価高騰などで病院の経営危機や介護の基盤崩壊が深刻になっているのに、ケア労働者の処遇改善など抜本的な解決策がありません。

さらに昨年12月18日、政権の高官が記者団に対して、「日本は核を保有すべきだ」ととんでもない発言をしました。唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶を先頭に立って主導すべき立場にある政府高官が核保有を強調したことは、核廃絶に向けて長年声を上げてきた被爆者、核廃絶を願って運動を進めてきた市民に対する裏切りであり、挑戦です。「核を保有すべきだ」と言うことは、「核武装せよ」を意味します。絶対に許される事ではありません。

私たち医療生協は、基本理念として、「人が人として大切にされる社会をめざし、保健・医療・介護の事業と運動を通して、様々な人たちと手をつなぎあい、平和とくらしを守り、健康で笑顔あるまちをつくります。」と宣言しています。

私たちも、微力ながらも「平和で健康で明るいまちづくり」をめざして支部活動を、発展させるために頑張る決意です。一層のご協力をお願いいたします。

2026年1月・新座支部運営委員会



今年も、あなたの力をお貸しください!

くらしサポーター

機関紙配付者



健康ひろば「いきいき体操」

2月3日(火)

3月3日(火)

参加費は
無料です。

10:30~11:30

野火止公民館2階

は、お休みします。



OTC類似薬の保険外しについて考える

発足して間もない高市政権は、社会保険料の引き下げのためと称して、医療・介護などの諸制度の改悪を次々と実施しようとしています。その一つに市販薬と同様の効果を持つ医療用薬品（OTC 類似薬）の保険外しを検討していました。連立政権の一翼を担う日本維新の会は「OTC 類似薬を保険適用から外せば医療費削減につながる」などと主張して、自民党と交わした連立合意書に「今年度中に薬剤自己負担の見直しについて制度設計する」と明記しています。もしこの合意書がそのままこの際実施されると、処方される薬によっては、現在の窓口負担の50～70倍の患者負担が発生すると言われていています。

実際にどのようなことが起こるのかについて、組合員のAさんに調べてもらいました。Aさんは、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアの手術を3回行い、現在も月1回整形外科に通院しています。その際処方される薬代は3種類で1,100円です。3種類のうち2種類が類似薬に該当すると言われていています。その一つ、鎮痛剤であるロキソプロフェン Na 錠60mgなどが保険外しの対象になっていて、病院の医師の説明では、「保険適用外となると8倍を超える可能性がある」と言われ、もし実施されると、後遺症による痛みが続いており、「薬を止めることはできない、どうしたらよいか途方にくれている」ということです。

政府・与党、保険適用除外を断念しました

政府・与党は12月12日、OTC 類似薬の患者負担増を巡り、従来通り保険適用を維持した上で定率の追加負担を求める方向で調整に入ったということです。日本維新の会は、保険適用の除外を積極的に求めていましたが断念しました。

こうした背景には「保険外し」が影響受ける関係者からの不安の声が急速に広まり、社会保障制度審議会の医療保険部会は、多くの委員の「保険適用の維持」という意見や、関係団体からの要望、医師会や患者団体からの切実な声に押されて「保険外し」を断念せざるを得なかったものです。



あらたな負担増に反対します

しかし、政府・与党はOTC 類似薬については、「保険外併用療養費」と呼ばれる仕組みを活用して、定率の追加負担を患者に押し付けようと狙っています。この内容は、通常の1～3割の自己負担に加え、かかった薬剤費の「4分の1」「3分の1」「2分の1」といった案が出ているということで、政府・与党は来年の通常国会に健康保険法改定案を提出する方向と言われていています。OTC 類似薬の扱いは現在、厚労省の諮問機関・社会保障審議会の医療保険部会を中心に議論されており、患者負担増を求める保険者側や、負担増に反対する医療提供側など、幅広い立場からの意見が出ており、結論は出ていません。政府・与党が頭ごなしに患者負担増を押しつけるのは、絶対に許されません。これ以上患者負担が増えれば、必ず受診抑制が起こったり、患者の自己判断で薬の利用を止める人が出てきます。このように人の「いのち」に重大な影響を与える制度の改悪は、許すわけにはいきません。

日本高齢者大会に参加しました

今年は大宮ソニックシティーで行われると聞いて、ぜひ参加したいと思い申込をしました。11月11日は、分科会でした。埼玉大学名誉教授の暉峻淑子さんの講演と「ごはん」という映画を観てきました。97歳の暉峻さんにお会いできて、感激しました。赤のジャケットでさっそうと登壇されました。開口一番、「社会の中に参加することこそ大切、長生きの秘訣です」と話されました。戦争はいけない、食べるものがなくて、ひもじい思いをした、虫や草などを食べた、死ぬことだけを要求された、など、具体的な話を聞くことができました。戦後新しい憲法ができて、「生きていていいんだ、質問することさえ許されなかった戦前から解放された」と話され、生の声を聴くことができ、大いに励まされました。

12日は、全体会で芝田英昭さんの講演を聴きました。GHQの憲法草案には憲法25条の文言はなく、国会審議によって加筆されたと聞き、日本国憲法は米国から押し付けられたものなどというのはとんでもないことだと思いました。

戦後10万人の米兵のために米国から、慰安婦の施設を作ってほしいと要請されたそうです。性病が蔓延しないように法律を作ったと聞き、驚きました。多くの日本の女性たちが、その役目を果たしたという歴史の事実を忘れてはならないと思いました。

オープニングで300人の大合唱にも参加しました。「折り鶴」、「いのちの歌」、「いつでも夢を」を歌い、会場いっぱいに歌声を響かせました。元気がもらえる二日間でした。

嶋田 好枝 記



まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう(メインスローガン)
分断・対立から共感・連帯へ 築こう平和と人の尊厳(サブスローガン)

2025年
第38回

日本高齢者大会

11月11日(火)・12日(水) inさいたま
大宮ソニックシティー



講演

てるおか いっこ
暉峻 淑子 氏

埼玉大学名誉教授・経済学者

いま豊かさとは
何かを問う

記念講演

芝田 英昭氏

博士:社会学
社会保障研究者

戦後80年、

いのちの尊厳から
平和を考える



映画上映会

ごはん

安田淳一監督



写真:嶋田さん提供




不安専門カウンセラー(臨床心理士・公認心理師・産業カウンセラー)の柳川 由美子さん執筆の「不安は自分を守るアラーム」を転載させて頂きました。





不安 は自分を守るアラーム


♡ つらさを受け止め、心を軽くする方法 I ♡

【二の腕をスリスリ】


 腕の外側や背中をさすると、心を安定させる「オキシトシン」というホルモンが分泌されます。


 ① 両手を胸の前で交差させ、二の腕を上下にさする。

 ② 「がんばってるね」「大丈夫だよ」など、自分にねぎらいや思いやりの言葉をかける。繰り返すほど心が落ち着きます。寝る前に行くと、寝つきやすくなります。

 *オキシトシンは「愛情ホルモン」や「幸せホルモン」とも呼ばれ、精神活動の制御や抗ストレス作用など、生物にとって重要な働きを持つことが分かっています。

【ぬいぐるみを分身に】

 自分に優しくするのが難しいと思ったら、ぬいぐるみを自分の分身にしていたわってみてください。

 さわり心地の良いぬいぐるみに、自分に似た名前をつけます。ぬいぐるみをなでて抱きしめながら「○○ちゃん、今日言われたこと、悲しかったね」「○○ちゃん頑張ったね」と話しかけてみましょう。



ぬいぐるみごと自分の気持ちをだきしめて、いたわって…

11/25

新座支部研修旅行

いい笑顔の日

吹割の滝・道の駅川場田園プラザ・原田農園りんご狩り

無事に行ってきました



11月25日(火)、総勢25名で晩秋の群馬へ出かけました。バス中では医療生協ならではの恒例研修を行いました。テーマは「新座市における高齢者のおかれている現状」(朝妻支部長)

今回の旅行には、昨年度まで常務理事を務められた丸山さん(写真左から2人目;志木市在住)が参加して頂きました。

これからも組合員の学習と親睦を深められる研修旅行を企画していこうと思います。ご参加ありがとうございました。

1月からの当面の日程です。皆さん、ご都合をつけて、ご参加ください。

- 1/ 6(火) 13:30~14:30 原水爆禁止協議会6・9行動 新座駅 原水爆禁止新座市協議会
- 2/ 3(火) 10:30~11:30 健康ひろば・し、きい、き体操 野火止公民館2階
- 2/ 6(金) 13:30~14:30 原水爆禁止協議会6・9行動 志木駅 原水爆禁止新座市協議会
- 2/ 8(日) 13:30~16:25 新座市社会保障推進協議会 学習会と総会 講師:平野 方紹(マサアキ)さん
市民会館第1・2会議室 テーマ「これからの社会保障」【折込みチラシをご覧ください】